

# 2017年度事業報告書

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

## I 事業期間

2017年4月1日～2018年3月31日

## II 事業の成果

2016年7月1日に認定NPO法人として認証されたのを機に、団体賛助会員の入会依頼に力を入れたところ、73団体（94口）に至っている。ただし、個人の会員減は毎年進んでいて、2017年度末段階では正会員270名、賛助会員420名となっていて、会員増を図ることが今後の課題である。

日常の活動の柱である電話相談は、27年間の活動を経て59,010件となった。今年度は集中電話相談「COML110番」を大阪（100件）と東京（137件）の2ヵ所で開催した影響も大きい。前年度より1年間の相談件数は334件増え、1,705件を数えた。日常の電話相談だけでも180件増えたことになる。毎日のようにかかってくる「リピーター」の相談者が増えた印象はあるが、リピーターの相談者は前年度から約100件しか増えていないので、今後、傾向の分析を進めていきたいと考えている。また、2019年度から開始したいと考えている東京での電話相談活動については、月約2回のペースで1回3時間程度の相談スタッフ候補者研修を進めており、順調に対応能力が高まってきている。

SP（模擬患者）の活動は、若干数ながら派遣回数が増えた。大学医学部では2020年度に臨床実習終了後OSCE（post-CC OSCE）をいっせいスタートするにあたり、そのトライアルが今年度から始まったので、今後更に派遣依頼は増えると考えられる。

2017年度の活動の特徴の大きな一つは、研修会活動に力を入れたことである。その結果、前年度より約140万円の収入増につながった。

まず、「患者と医療者のコミュニケーション講座」を再開し、1回ずつではあるが、大阪と東京の2ヵ所で開催した。

2009年から開催してきた「医療で活躍するボランティア養成講座」は、「医療をささえる市民養成講座」と改称して基礎コースと位置づけ、大阪日曜コース、東京夏期コース、東京日曜コースの3コースを開催した。参加者も前年度より増え、約30万円の収入増となっている。

そして、基礎コース5回をすべて修了した人を対象に、アドバンスコース「医療関係会議の一般委員養成講座」（1回3時間×7回）を東京で前期・後期の2回開催した。2回とも定員16名の参加があり、約108万円の収入につながった。更に、2回にわたる模擬検討会の合格者を「COML委員バンク」に登録資格を付与したところ、今年度で8名の登録者が誕生した。そして、外部から4つの委員要請が届き、既にバンク登録者が委員として活躍し始めている。

病院探検隊はフル病院探検隊が2回にとどまり、1ヵ所は直前にキャンセルという初めての経験もした。病院探検隊の理解が不十分なまま依頼されていたことが原因と判明し、派遣依頼を受けた段階での確認を十分おこなう必要性を再認識している。

弁護士の依頼による調査協力のドクターコメントとして第三者の協力医との面談を求める依頼やカルテ翻訳依頼は、更に減少した。ただ、調査協力は協力医の無償ボランティアの協力という非常に大きな支援によるものであることを例年通り、ここに記しておきたい。

講演・シンポジウムへの派遣は、前々年度 21 回、前年度更に 8 回と増加していたが、今年度は 21 回減少し 143 回にとどまった。その結果、約 250 万円の収入の減少につながり、今年度の収支に大きな影響を与える結果となってしまった。

厚生労働省、文部科学省をはじめとした国の検討会、審議会や自治体や各種団体、大学などの委員要請は更に増え、2017 年度に就任していた委員は前年度より 16 増えて 99 に及ぶ。委員会の出席回数は、前年度も前々年度より 14 回増えていたが、今年度は更に 17 回増え、年間の会議の出席回数 152 回に及んだ。政策提言に積極的にかかわり、幅広い分野の最新の情報が得られるだけでなく、人脈の拡がりの大きな原動力ともなっている。依頼があってはじめて実現する役割なだけに、真摯な姿勢で積極的に発言し、医療の発展に寄与していきたいと考えている。ただ、多くの時間を割いている割には、COML の収入増に直接つながらないことが悩みでもある。しかし、「COML 委員バンク」を充実させることで、多くの人々が政策提言にかかわる機会を増やすことにつながる布石ととらえて、今しばらくは必要がある限り応えていきたいと考えている。

以上、2017 年度は前述したようなことを中心に活動を進めてきた。収入増につながった活動もあったが、会員数の減少と、これまで収入の大きな部分を占めていた講演の派遣回数の減少が大きく影響し、会計収支は 1,605,077 円の赤字となってしまった。次年度は団体賛助会員をはじめ、会員増に力を入れ、経営の改善に力を入れていきたい。

以上



### Ⅲ 事業の実施に関する事項

#### (1) 会報誌発行・講師派遣等の普及啓発活動

[内容]	依頼された各種団体や医療機関、行政などの依頼に基づき、講演やシンポジウムでCOMLのメッセージを届け、一般の人には「賢い患者」になる必要性和情報提供を、医療者には患者とのコミュニケーションの重要性について普及啓発する。さらにCOMLからのメッセージを会報誌や書籍、小冊子を介して発信すると共に、時代の必要性に応じた意識啓発のためのキャンペーンを実施する。
[実施場所]	講演等は招聘された場所。会報誌や書籍等の製作は、大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)
[実施日時]	随時
[事業の対象者]	講演等は受講者(派遣回数143回<21回減>)。会報誌はCOML会員や講演受講者に配布。書籍・小冊子は購入者。
[収入]	11,921,657円 (講演収入7,188,583円 講演未収入金132,400円 原稿収入1,453,894円 書籍・物品収入403,132円 受取送料19,962円 旅費交通費2,721,986円 旅費交通費未収入金1,700円)

\*参考：当年度期間内に個人口座に振り込まれた講演謝金は752,486円、原稿料は32,795円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金として本会計に入金します。そのため、(1)の実態講演収入は、8,073,469円、実態原稿料収入は1,486,689円です。

[支出]	13,297,190円 (給料手当 <u>4,614,000円</u> 法定福利費 <u>584,500円</u> 旅費交通費 <u>2,653,570円</u> (2,403,570円+ <u>250,000円</u> ) 通信運搬費 822,046円 諸謝金 33,408円 印刷製本費 2,523,960円 光熱水料費 <u>171,000円</u> 賃借費 <u>1,458,500円</u> 災害保険料 <u>20,000円</u> 消耗品費 16,156円 消費税 <u>400,050円</u> ) (下線部は比率ごとに按分した算出分です)
------	--

50%

#### (2) 電話・手紙・FAX・メール等による医療に関する相談

[内容]	COML電話相談スタッフ(非医療者)が相談に対応し、相談者の気持ちを受け止め、問題整理・解決のための支援やアドバイス、情報提供をおこなう。集中電話相談として医療者の協力を得て「COML110番」も実施
[実施場所]	大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所) COML110番東京開催は、東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学医学部附属病院
[実施日時]	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00 COML110番は、大阪：7月1日(土)～2日(日) 10:00～18:00、

東京：8月26日（土）～27日（日）10:00～18:00

当年度内の相談総数：1,705件<334件増>

[事業の対象者] 不特定の市民、医療者  
[収入] なし  
[支出] 1,630,922円  
(旅費交通費531,172円 通信運搬費198,250円 諸謝金901,500円)

### (3) 研修会・フォーラム・シンポジウム等の開催

#### ①ミニセミナー「患者塾」

[内容] 身近な医療問題をテーマにとりあげ、テーマに沿った体験者・実践者等の話題提供のあと、参加者によるグループディスカッションや質疑応答をおこない、問題意識を高める。

[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)

[実施日時] 225回 4月1日「医療・介護の連携に向けての現状」  
226回 6月24日「介護保険制度のサービスを上手に利用しよう」  
227回 8月19日「在宅医療、訪問診療の実際」  
228回 10月7日「いまから考える終末期の意思表示」  
229回 12月9日「薬局の賢い利用とは」  
230回 2月10日「がんと緩和ケア」

[事業の対象者] 広報による参加者

[①収支の内訳] (収入) 54,400円(研修会収入)  
(支出) 160,318円  
(旅費交通費7,000円 通信運搬費19,674円 諸謝金133,644円)

#### ②患者と医療者のコミュニケーション講座

[内容] 患者のコミュニケーション能力を高めるために、ゲームやロールプレイ、ディスカッションなどを通して自らのコミュニケーションの癖や課題に気づくためのワークショップをおこなう。

[活動場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)

東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 大阪：6月10日(土)  
東京：10月21日(土)

[事業の対象者] 一般市民・医療従事者

[②収支の内訳] (収入) 33,000円(研修会収入)  
(支出) 886円(旅費交通費)

#### ③医療をささえる市民養成講座

[内容] 医療周辺の制度、しくみ、知識などを学び、理解したうえで、自らも賢い患者としてコミュニケーション能力を高め、従来よりもう一步踏み込んで医療に参加する意識を養う。今年度は第9期。

[活動場所] 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 大阪日曜コース：4月16日、5月14日、28日、6月11日、25日  
東京夏期コース：8月11日、12日、13日、14日、15日  
東京日曜コース：10月8日、22日、11月5日、19日、12月3日  
全3コース（15回×3時間開催）

[事業の対象者] 一般市民・医療従事者

[③収支の内訳] (収入) 765,000円（研修会収入）  
(支出) 327,815円  
(旅費交通費 203,725円 通信運搬費 6,919円  
印刷製本費 14,040円 消耗品費 103,131円)

#### ④倫理審査委員養成講座

[内容] AMED 再生医療の実現化ハイウェイ「再生医療研究における倫理的課題の解決に関する研究」（代表：東京大学医科学研究所）と共催で、治験や臨床研究の申請時や途中経過、終了の報告などの審査をおこなう倫理審査委員の一般外部委員を養成する。

[活動場所] 東京都港区高輪3丁目26-33（TKP品川カンファレンスセンター）

[実施日時] 11月25日、12月2日、2月17日、3月10日（この間に倫理審査委員会の傍聴実施）

[事業の対象者] 一般市民

[④収支の内訳] (収入) なし（協力謝金 907,200円＜別途シンポジウム協力も含む＞）  
(支出) 36,835円  
(旅費交通費 28,257円 通信運搬費 8,578円)

#### ⑤医療関係会議の一般委員養成講座

[内容] 基礎コース「医療をささえる市民養成講座」全コースを修了した人を対象に、医療関係の会議で一般委員として冷静かつ客観的な意見を述べられる人を養成する。2回にわたっておこなう模擬検討会で合格した人に「COML委員バンク」の登録資格を付与する。

[活動場所] 東京都文京区本郷7-3-1（東京大学本郷キャンパス）

[実施日時] 前期：7月9日、23日、8月5日、19日、9月3日、17日、  
10月1日  
後期：12月10日、17日、1月13日、27日、2月11日、25日、  
3月11日（日）

[事業の対象者] 一般市民

[⑤収支の内訳] (収入) 1,085,000円（研修会収入）  
(支出) 552,284円  
(旅費交通費 404,873円 通信運搬費 410円  
諸謝金 140,000円 消耗品費 7,001円)

#### ⑥総会の実施

[内容] 総会に合わせて、拡大患者塾等を開催。

[活動場所] 大阪府中央区大手前1-3-49（ドーンセンター）

[実施日時] 5月20日

[事業の対象者] 正会員（拡大患者塾は賛助会員も）

[⑥収支の内訳] (収入) なし

(支出) 23,520 円  
(旅費交通費 720 円 賃借費 5,600 円  
次期前払賃借費 17,200 円)

①～⑥総合して

[収入] 1,937,400 円 (研修会収入)  
[支出] 2,601,268 円  
10% (給料手当 922,800 円 法定福利費 116,900 円  
旅費交通費 695,461 円 (645,461 円+50,000 円)  
印刷製本費 14,040 円 通信運搬費 35,581 円 諸謝金 273,644 円  
光熱水料費 34,200 円 賃借費 314,500 円 (5,600 円+次期前払賃借  
費 17,200 円+291,700 円) 災害保険料 4,000 円  
消耗品費 110,132 円 消費税 80,010 円  
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(4) SP (模擬患者) の活動

[内容] 大学医学部・看護学部 (看護学校)・医療機関等の卒後研修などの依頼  
に対して、コミュニケーションセミナーのための患者役として SP を  
派遣する。  
第 5 回関西 SP 交流会を 3 月 3 日に開催した。  
[実施場所] 指定された場所  
第 5 回関西 SP 交流会は、エルおおさか (大阪市中央区北浜東 3-4)  
[実施日時] セミナー、授業、試験など年間派遣回数 55 回<4 回増>  
[事業の対象者] 医学生 6 回<不変>、看護学生 7 回<不変>、その他学生 4 回<不変>、研  
修医 3 回<1 回減>、医療者卒後研修 9 回<2 回減>、医療面接練習や試  
験 22 回<3 回増>、研究協力 4 回<4 回増>  
[収入] 2,834,140 円  
(SP 活動収入 1,847,200 円 SP 活動未収入金 475,800 円  
旅費交通収入 464,150 円 旅費交通未収入金 46,990 円)  
[支出] 3,127,744 円  
12% (給料手当 1,107,360 円 法定福利費 140,280 円  
旅費交通費 578,200 円 (518,200 円+60,000 円)  
通信運搬費 21,135 円 諸謝金 756,137 円 光熱水料費 41,040 円  
賃借費 382,780 円 (32,740 円+350,040 円) 災害保険料 4,800 円  
消費税 96,012 円)  
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(5) 病院探検隊の実施

[内容] 依頼のあった医療機関に対して病院探検隊員を派遣し、自由見学・案  
内による見学・(医療機関の要請に応じて) 受診をおこなう。医療機関  
の職員とのディスカッションをおこない、感想・意見等をフィードバ  
ックする。後日、レポートを医療機関に提出する。5～6 名を派遣し、  
自由見学と受診という縮小した形でおこなうハーフ病院探検隊もメニ

ユーとして用意し、病院探検隊を希望する医療機関が選択する。

[実施場所] 依頼のあった医療機関

[実施日時] 派遣回数 2 回<1 回減>  
医療法人畏敬会井野辺病院 (6 月 13 日実施)  
大阪国際がんセンター (1 月 24 日実施)

[事業の対象者] 医療機関の職員

[収入] 1, 078, 854 円  
(病院探検隊収入 648, 000 円 旅費交通収入 430, 854 円)

[支出] 1, 042, 865 円  
(給料手当 369, 120 円 法定福利費 46, 760 円  
旅費交通費 393, 021 円 (373, 021 円+20, 000 円)  
諸謝金 70, 000 円 光熱水料費 13, 680 円 賃借費 116, 680 円  
災害保険料 1, 600 円 消費税 32, 004 円)  
4% (下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(6) 弁護士等の依頼による調査協力

[内容] 医療を受けて納得いかない結果に陥った患者・家族からの法的解決依頼を引き受けた弁護士からの依頼で、カルテ翻訳や協力医による検証のためのコーディネートをおこなう。

[実施場所] 大阪市北区西天満 3 丁目 13 番 9 号 西天満パークビル 4 号館 5 階 (当法人事務所)、あるいは協力医の指定した場所

[実施日時] 随時 (カルテ翻訳受付 80 回<25 回減>  
協力医と弁護士の面談 23 回<4 回減>)

[事業の対象者] 弁護士

[収入] 2, 512, 048 円 (調査協力収入)  
(調査協力収入 2, 468, 848 円 調査協力未収入金 43, 200 円)

[支出] 2, 898, 742 円  
(給料手当 1, 291, 920 円 法定福利費 163, 660 円  
旅費交通費 88, 490 円 (18, 490 円+70, 000 円)  
通信運搬費 67, 655 円 諸謝金 713, 143 円 光熱水料費 47, 880 円  
賃借費 408, 380 円 災害保険料 5, 600 円 消費税 112, 014 円)  
14% (下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(7) 委員派遣等の政策提言活動

[内容] 医療機関や地方自治体から外部委員の要請を受け派遣したり、マスメディアからの出演依頼、取材依頼などに応じたりする。委員としての検討会・審議会等会議への出席回数は公表できるものだけで 152 回。ただし、会議への出席等の謝金の中で個人宛に支給されるものは下記「委員会謝礼」に含まれず、いったん個人口座に入金してプールし、税金処理終了後に寄付金収入として本会計に入金するシステムを採っている。

[実施場所] 依頼のあった場所

[実施日時] 随時

[事業の対象者] 依頼者  
[収入] 4,849,294円  
(その他謝金 1,837,233円<内訳:委員会謝礼 591,505円・協力謝金 46,600円・協力謝金未収入金 907,200円・出演料 122,580円・取材謝礼 169,348円> 旅費交通収入 3,012,061円)

\*参考: 当年度期間内に個人口座に振り込まれた委員会謝礼総額は 2,503,657円、取材謝礼 52,079円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金として本会計に入金します。そのため、実態委員会謝礼総額は 3,095,162円で(7)の実態合計収入は、7,405,030円です。

[支出] 4,264,911円  
(給料手当 922,800円 法定福利費 116,900円  
10% 旅費交通費 2,815,301円 (2,765,301円+50,000円)  
光熱水料費 34,200円 賃借費 291,700円 災害保険料 4,000円  
消費税 80,010円)  
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(8) その他

(1~7に特化できない横断的な支出。旅費交通費は出張手当、通信運搬費は切手代)

[支出] 1,272,492円  
(旅費交通費 1,142,000円 通信運搬費 130,492円)

●2017年度にCOMLとして就任していた審議会・検討会・委員会・役員など(99)

<国 29>

厚生労働省社会保障審議会医療部会  
文部科学省課題解決型高度医療人養成推進委員会  
文部科学省歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議  
厚生労働省医療介護総合確保促進会議  
厚生労働省歯科医師の資質向上等に関する検討会  
厚生労働省歯科医師の資質向上検討会専門性ワーキンググループ  
厚生労働省異状死死因究明支援事業選定委員  
厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議  
厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会  
厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会医師受給分科会  
厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会看護師受給分科会  
厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会理学療法士作業療法士需給分科会  
厚生労働省医薬・生活衛生局医療情報データベース運営検討会  
厚生労働省医療情報の提供に係る制度のあり方検討会  
厚生労働省医療計画の見直し等に関する検討会  
厚生労働省全国在宅医療会議  
厚生労働省委託事業「患者のための薬局ビジョン実現のためのアクションプラン」検討事業  
厚労科研「特定機能病院、地域医療支援病院のあり方及び病院第三者評価についての研究」



厚生労働省 MID-NET 利活用ルールワーキンググループ  
厚生労働省全国在宅医療会議ワーキンググループ  
厚生労働省厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会  
厚生労働省今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会  
厚生労働省老人保健健康増進等事業「介護分野における薬剤師の関わり方等に関する調査研究事業」  
厚生労働省厚生科学審議会臨床研究部会  
厚生労働省特定機能病院管理者研修事業評価委員会  
厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策調査会（タミフル等）  
厚生労働省かかりつけ医に対する患者ニーズに関する調査検討会  
厚生労働省情報通信機器を用いた診療に関するガイドライン作成検討会  
厚生労働省国立高度専門医療研究センターの今後の在り方検討会

<地方行政関係 14>

地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会  
大阪府地方独立行政法人評価委員会病院部会  
大阪府医療相談等連絡協議会  
大阪府薬事審議会  
大阪府医療対策協議会  
大阪府地域医療支援センター運営事業委員会  
東京都立病院経営委員会  
大阪市立病院機構評価委員会  
東京都都立・公社病院の資源を生かした人材育成のあり方検討会  
東京都診療データバンクに係る検討委員会  
大阪府感染症対策懇話会委員  
都立病院経営委員会「今後の都立病院の担うべき医療の方向性」に関する検討部会  
大阪府医療費適正化計画推進審議会  
東京都地域医療構想調整部会

<公的民間機関 18>

公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員会  
公益財団法人日本医療機能評価機構産科補償制度運営委員会  
社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構理事  
公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故運営委員会  
歯科医師臨床研修マッチング協議会運営委員会  
大阪府看護協会事業運営委員会  
公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部患者・市民小部会  
国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）アドバイザーボード委員  
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員  
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業再発防止委員会委員  
一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）理事  
日本医療機能評価機構評価事業推進部評価項目改定部会員  
一般社団法人全国訪問看護事業協会理事  
公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験委員会

日本医療研究開発機構（AMED）平成 29～30 年度臨床研究等における患者・市民参画に関する動  
向調査委員会

日本医療機能評価機構診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）MID-NET 有識者会議

一般社団法人大阪府薬剤師会学術研究倫理審査委員会

#### <医療機関 29>

社会医療法人阪南医療福祉センター評議員

耳原総合病院研修管理委員会

耳原総合病院倫理委員会

耳原総合病院治験審査委員会

神戸市立医療センター中央市民病院地域医療支援事業運営委員会

大阪大学医学部アドバイザー委員会

滋賀医科大学医学部附属病院初期臨床研修管理委員会

市立豊中病院運営審議会

滋賀医科大学コア生涯学習型高度専門医養成プログラム評価委員

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会

京都大学特定認定再生医療等委員会

大阪大学未来医療研究人材養成拠点形成事業「地域に生き世界に伸びる総合診療医養事業」外  
部評価委員

京都府立医科大学特定認定再生医療等委員会

北里大学病院研究調査委員

慶應義塾大学病院病院長特命タスクフォース（医療機能）

慶應義塾大学病院病院機能改革アドバイザー会議委員

近畿大学医学部附属病院臨床倫理委員会

慶應義塾大学病院医療安全監査委員

杏林大学医学部附属病院医療安全監査委員

京都大学医学部附属病院医療安全監査委員長

大阪大学医学部附属病院医療安全監査委員

近畿大学医学部附属病院医療安全監査委員

北里大学病院医療安全監査委員

東海大学医学部附属病院医療安全監査委員

自治医科大学病院医療安全監査委員

京都大学医学部認定臨床研究審査委員会

岐阜大学医学教育開発研究センター運営協議会

昭和大学医学部カリキュラム検討委員会

東京医科大学病理診断報告書検討委員会

#### <医療団体 9>

NPO 法人いたみ医学研究情報センター評議員

一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会倫理審査委員会

一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会倫理委員会

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）委員

日本疫学会倫理審査委員

日本製薬工業協会患者団体アドバイザーボード

一般社団法人日本看護研究学会研究倫理審査委員会  
一般社団法人 くすりの適正使用協議会共同ステートメント  
一般社団法人日本内視鏡外科学会倫理・渉外委員会

非常勤講師

山口大学医学部

佐賀大学医学部

浜松医科大学

大分大学医学部看護学科

広島大学歯学部

富山大学医学部

京都薬科大学

京都府立医科大学

東北医科薬科大学

大阪薬科大学

以上

#### IV 総会の開催状況

- [名称] 特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）第17回総会
- [日時] 2017年5月20日（日）13:30～14:40
- [場所] ドーンセンター大会議室（大阪市中央区大手前1-3-49）
- [社員総数] 282名
- [出席者数] 203名（うち委任状出席者数183名）
- [議案の内容] 議長、議事録署名人の選出  
第1号議案 2016年度事業報告書と収支計算書の承認  
第2号議案 2017年度事業計画書と収支予算書の承認
- [審議結果] 議長を互選したところ、XXXXXXXXXXが選ばれ、議長を務めた。議長より、古府伸也と田熊清明の2名を議事録署名人に指名し、出席者の9割を超える賛成にて承認し、本案が可決された。
- 第1号議案  
議長の指示にて、XXXXXXXXXXより、2016年度事業報告と収支決算の内容を説明し、報告した。採決したところ、9割を超える出席者の理解を得、承認された。
- 第2号議案  
議長の指示にて、XXXXXXXXXXより2017年度事業計画書と収支予算書の内容を説明し、採決したところ、9割を超える出席者の了承を得て承認された。

#### V 理事会の開催状況

##### 2017年度第1回理事会

- [日時] 2017年4月23日（日）14:00～17:05
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事6名出席（4名欠席）
- [議案の内容] 1. 2016年度決算と事業報告  
2. 2017年度予算と事業計画  
3. その他
- [審議結果] 1. 各内容について審議し、総会への提出内容を決定した。  
2. 各内容について審議し、総会への報告内容を決定した。  
3. ①役員と職員の給与と昇給について話し合い、役員の昇給についてルールを定めた。  
②事務局体制のあり方について話し合った。  
③新しい活動の取り組み状況などを報告した。

##### 2017年度第2回理事会

- [日時] 2017年10月14日（土）14:30～16:32
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事9名出席（1名欠席）
- [議案の内容] 1. 2017年度上半期の会計報告  
2. 事務局体制とその他
- [審議結果] 1. 2017年度上半期の会計報告をおこなった。

2. ①事務局長の交代について決定した。
- ②次年度の事務局体制と活動の進捗状況を報告した。

#### 2017 年度第 3 回理事会

- [日時] 2018 年 1 月 6 日 (土) 12:09~13:17
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事 9 名出席 (1 名欠席)
- [議案の内容]
1. スタッフの雇用と変更
  2. 活動の進捗状況について
  3. 2018 年度総会について
- [審議結果]
1. 2018 年 4 月以降新しく加わるスタッフと事務局職員は辞してボランティアとしてかかわるスタッフの報告と役割分担、雇用条件などを話し合った。
  2. ①2019 年度から開始予定の東京での相談活動の準備状況を報告した。  
②団体賛助会員増に向けての取り組みと、医療関係会議の一般委員養成講座、COML 委員バンクの状況について報告した。  
③役員改選に向けて、現役員の再任を依頼。総会終了後の拡大患者塾について内容を話し合った。

以上

## 2017年度特定非営利活動に係る活動計算書

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2017年4月1日から2018年3月31日

(単位:円)

科 目	2017年度年間予算額	2017年度決算額	差 異
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	2,000,000	1,588,000	412,000
賛助会員会費収入	4,000,000	4,566,000	△ 566,000
特別会員会費収入	1,800,000	1,980,000	△ 180,000
2 事業収入			
調査協力収入	3,000,000	2,512,048	487,952
講演収入	10,000,000	7,320,983	2,679,017
原稿収入	2,000,000	1,453,894	546,106
SP派遣収入	2,500,000	2,323,000	177,000
書籍・物品収入	500,000	403,132	96,868
研修会収入	2,052,400	1,937,400	115,000
病院探検隊収入	1,296,000	648,000	648,000
その他謝金収入	700,000	1,837,233	△ 1,137,233
旅費交通費収入	7,400,000	6,677,741	722,259
受取送料	30,000	19,962	10,038
3 寄付金収入			
寄付金収入	4,039,600	4,194,453	△ 154,853
4 雑収入			
受取利息		2,156	△ 2,156
雑収入			0
当期収入合計(A)	41,318,000	37,464,002	3,853,998
前期繰越金収支差額	39,052,179	39,052,179	
収入合計(B)	80,370,179	76,516,181	3,853,998

科 目	2017年度年間予算額	2017年度決算額	差 異
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
給料手当	8,890,000	9,228,000	△ 338,000
法定福利費	1,260,000	1,169,000	91,000
旅費交通費	10,228,000	8,897,215	1,330,785
通信運搬費	1,800,000	1,275,159	524,841
印刷製本費	3,000,000	2,802,496	197,504
賃借費	2,970,000	2,972,540	△ 2,540
諸謝金	3,080,000	2,747,832	332,168
書籍物品費	20,000	0	20,000
図書研修費費	10,000	0	10,000
光熱水料費	350,000	342,000	8,000
災害保険料	70,000	40,000	30,000
消耗品費	20,000	126,288	△ 106,288
消費税	900,000	800,100	99,900
2 管理費			
給料手当	3,810,000	3,955,324	△ 145,324
法定福利費	540,000	500,966	39,034
福利厚生費	320,000	349,476	△ 29,476
旅費交通費	60,000	213,780	△ 153,780
通信運搬費	300,000	327,605	△ 27,605
消耗品費	1,200,000	610,361	589,639
光熱水料費	150,000	147,182	2,818
賃借費	1,260,000	1,250,144	9,856
災害保険料	30,000	16,710	13,290
租税公課	80,000	70,313	9,687
支払手数料	450,000	453,400	△ 3,400
諸会費	40,000	20,000	20,000
交際費		20,671	△ 20,671
減価償却費	30,000	27,572	2,428
雑費	0	0	0
3 固定資産取得支出			
4 特定預金支出			
退職給与引当預金支出	450,000	704,945	△ 254,945
5 予備費			
予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	41,318,000	39,069,079	2,248,921
当期収支差額(A)-(C)	0	-1,605,077	
次期繰越収支差額(B)-(C)	39,052,179	37,447,102	

## 2017年度貸借対照表

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2018年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	13,025		
普通預金	12,372,543		
定期預金	20,000,000		
未収入金	1,847,290		
棚卸資産	691,990		
流動資産合計		° 34,924,848	
2 固定資産			
什器備品	3		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	6,360,320		
固定資産合計		° 9,584,135	
資産合計			° 44,508,983
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	263,061		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	368,500		
流動負債合計		° 701,561	
2 固定負債			
退職給与引当金	6,360,320		
固定負債合計		° 6,360,320	
負債合計			° 7,061,881
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		39,052,179	
当期正味財産増加額		° -1,605,077	
正味財産合計			° 37,447,102
負債及び正味財産合計			° 44,508,983



# 2017年度会計財産目録

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2018年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	13,025		
普通預金			
三菱東京UFJ銀行	10,105,289		
三菱東京UFJ銀行	2,216,368		
三井住友銀行	24,791		
りそな銀行	26,095		
定期預金			
三井住友銀行	10,000,000		
りそな銀行	10,000,000		
未収入金	1,847,290		
書籍等	691,990		
流動資産合計		<sup>4</sup> 34,924,848	
2 固定資産			
什器備品	3		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	6,360,320		
固定資産合計		<sup>9</sup> 9,584,135	
資産合計			<sup>4</sup> 44,508,983
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	263,061		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	368,500		
流動負債合計		<sup>9</sup> 701,561	
2 固定負債			
退職給与引当金	6,360,320		
固定負債合計		<sup>6</sup> 6,360,320	
負債合計			<sup>9</sup> 7,061,881
正味財産			<sup>4</sup> 37,447,102

# 役員名簿

就任期間 2017年4月1日～2018年3月31日

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML (コムル)

役職名	ふり 氏 がな 名	報酬の有無
理事長	やまぐち 山口 いくこ 育子	無
理事	あおき 青木 きみこ 貴美子	無
理事	かみのう 上農 てつろう 哲朗	無
理事	くさば 草場 てっしゅう 鉄周	無
理事	くぼ 久保 すずこ 鈴子	無
理事	さかうえ 坂上 こういち 晃一	無
理事	たくま 田熊 きよあき 清明	無
理事	ふるこ 古府 しんや 伸也	無
理事	みやもと 宮本 つねひこ 恒彦	無
理事	わささか 脇阪 あけみ 明美	無
監事	まつもと 松本 とういち 藤一	無

前事業年度末日における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所・居所を記載した書面

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

平成30年 3月 31日現在

	氏名	
1	山口 育子	
2	青木 貴美子	
3	上農 哲朗	
4	草場 鉄周	
5	久保 鈴子	
6	坂上 晃一	
7	田熊 清明	
8	古府 伸也	
9	宮本 恒彦	
10	脇阪 明美	

	氏名	
11	高森 勝子	
12	西 和子	
13	小川 昌邦	
14	藤本 安子	
15	高橋 一郎	
16	村上 朝子	
17	杉本 麗子	
18	浜端 久美	
19	森 彩乃	
20	吉田 三嘉	

